

## 日本内分泌病理学会 理事会 議事録

日 時：2013年10月3日（木）18：00－19：30

場 所：ホテルモントレ横浜 13階 ホール・シエル

出席者：成瀬光栄 理事長、覚道健一、山田正三、笹野公伸、加藤良平、島津章、  
吉本勝彦、屋代隆、戸田修二、山下俊一、田辺晶代 の各理事、  
方波見卓行、松野彰 の各監事、 長村義之 顧問

欠席者：亀山香織（委任状提出）、柴田洋孝 の各理事

### 議 題：I 評議員会・総会と共通の議題

#### <審議事項>

1. 2012年度決算及び監査報告の件 -----笹野（財務）・方波見（監事）
2. 2013年度見込み及び2014年度予算案の件 ----- 笹野（財務）
3. 次次期（第19回、2015年度）及び次々々期（第20回、2016年度）の学術総会  
会長候補者の件----- 理事長
4. 名誉会員推薦の件 ----- 理事長
5. 功労評議員推薦の件 ----- 理事長
6. 新評議員推薦の件 ----- 理事長
7. 会則一部改訂の件 ----- 山田（庶務）

#### <報告事項>

8. 第1回特別功労賞及び佐野賞の件 -----理事長
9. 第17回学術総会研究賞の件 -----方波見（当該会長）
  - 1) 研究賞選考委員
  - 2) 研究賞受賞者
10. 第18回（2014年度）学術総会の予告----屋代（当該会長）

#### <特別功労賞表彰式> -----理事長・会長

### II 理事会のみの議題

#### <審議事項>

11. 学会名称変更の件 -----理事長

#### <報告事項>

12. 第88回（2015年度、伊藤裕会長）日本内分泌学会学術総会プログラム委員会への  
プログラム提案募集について-----山田（P委員）
13. 会員数と会費長期未納者の取り扱いについて -----理事長
14. コンサルテーションの現状について -----覚道（広報、C委員長）

#### <その他>

15. 国際交流について -----加藤（企画学術）
16. 事務局の人件費（事務委託費）について-----理事長
17. 日本内分泌学会雑誌「分科会抄録号」の掲載内容について-----理事長
18. 事務局アドレス変更について -----理事長

冒頭、成瀬理事長より、定足数を満たす出席者があるので本理事会は成立する旨報告があり、引き続き、同理事長の司会により議事進行が行われた。

## 1. 2012 年度決算及び監査報告の件

笹野財務理事より、2012 年度一般会計の決算報告が行われた。収入の部において 2011 年度から 2012 年度にかけて会員数が大幅に増加したことにより年会費収入が予算額を大幅に上回ったこと、また佐野壽昭夫人から（用途限定となるが）佐野賞寄付金があったこと、一方、支出の部については消耗品費・印刷費等の事務局業務効率化により予算を下回ったことにより、結果として赤字予測から一転して 68 万円余の黒字となったことが報告された。但し、佐野賞寄付金を差し引くと実質の黒字は 18 万円余であるとの注意喚起があった。引き続き第 16 回学術総会会長の笹野理事より、同学術総会決算について、有料参加者 81 名、無料参加者 22 名があり、約 235 万円規模の収支になったこと、また源泉税を納入したこと及び一般会計へ約 12 万円の繰越金を出したことが報告された。

次いで方波見監事より、上記 2 件について松野監事と監査を行った結果、2012 年度決算は適正に執行されているとの監査報告があり、審議の結果、2012 年度決算は全会一致で承認された。

なお、佐野賞基金は会計報告上、科目を設けて残高を明示するが、一般会計のなかで扱うこととした。

## 2. 2013 年度見込み及び 2014 年度予算案の件

笹野理事より、2013 年度見込みの収入の部において年会費収入は現会員数が維持され、かつ評議員の納入率を 90%、一般・学生会員の納入率を 70%と予想して計上した値であること、また第 16 回学術総会から一般会計への繰入を 2013 年 5 月に行ったので、2013 年度の収入としたことが説明された。一方、支出の部では、特別功労賞授与品が新たな支出となるが、会議費が日本内分泌学会学術総会会長の負担により発生しないことや消耗品費が 2012 年度の削減実績を踏まえ減額できることから、年会費収入が予想通りであれば、30 万円余の黒字を見込むとの説明があった。また、実際に黒字を確保するため配下協力者等への年会費納入の働きかけが要望された。

引き続き同理事より、2014 年度予算案について収入の部の年会費収入は 2013 年度見込みと同じ考え方で計上したこと、支出の部では学術総会開催地が東京となることによる旅費交通費の若干の増額以外は 2013 年度見込みと同額計上し、17 万円余の黒字を予想するとの説明があった。

以上について審議の結果、2013 年度見込み及び 2014 年度予算案は全会一致で承認された。

### 3. 次々期（第 19 回、2015 年度）及び次々々々期（第 20 回、2016 年度）の学術総会 会長候補者の件

過去の会長経験者を参考に意見交換の結果、戸田理事を次々期会長候補者として選出し、評議員会・総会に推薦することとした。また、同氏もこれを受諾した。

さらに、今回から開催準備の都合を考慮して次々々々期会長候補者も選出することとし、松野監事を評議員会・総会に推薦することし同氏もこれを受諾した。

### 4. 名誉会員推薦の件

成瀬理事長より、名誉会員内規に照らして該当者なしとの説明があった。

### 5. 功労評議員推薦の件

成瀬理事長より、高松順太評議員を評議員会・総会に推薦したいと提案され、了承された。

### 6. 新評議員推薦の件

成瀬理事長より、申請がなかったことが報告された。

### 7. 会則一部改訂の件

山田庶務理事より、去る 4 月の理事会で承認された顕彰制度に関する下記の改訂案を評議員会・総会に諮ることを確認した。

改訂（案）	現行
<b>（顕彰）</b> 第 32 条 関連分野における <u>優れた</u> 研究者に対して別に定める細則に基づき、 <b>特別功労賞、佐野賞および</b> 研究賞を授与する	<b>（研究賞）</b> 第 32 条 関連分野における研究者に対して別に定める細則に基づき、研究賞を授与する

### 8. 佐野賞及び特別功労賞の件

成瀬理事長より、去る 4 月の理事会で承認された下記の各受賞者を評議員会・総会に報告することを確認した。

（1）特別功労賞： 3 名（順不同）

・ 笹野伸昭、川生 明、亀谷 徹 の各名誉会員

（2）佐野賞： 1 名

・ 西岡 宏 評議員

### 9. 第 17 回学術総会研究賞の件

方波見第 17 回会長より、8 月の持ち回り理事会で承認された選考委員 3 名およびその下で選ばれた受賞者について、下記の通り報告があり、評議員会・総会に報告することを確認した。

（1）研究賞選考委員

・ 委員長：方波見卓行、委員（順不同）：山田正三、加藤良平、屋代隆

## (2) 研究賞受賞者

### ①最優秀賞

・大坪 竜太

(長崎大学原爆後障害医療研究所腫瘍・診断病理学研究分野/長崎大学腫瘍外科)

「甲状腺濾胞性腫瘍術前診断法としての p53-binding protein 1 (53BP1) 蛍光免疫染色の意義」

### ②奨励賞

・鈴木佐和子

(千葉大学医学部附属病院糖尿病代謝内分泌内科/千葉大学大学院医学研究院細胞治療内科学)

「AIMAHにおける WNT シグナルの活性化と特異的なステロイド合成酵素発現プロファイルに及ぼすその役割」

・柴山 惟

(公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院糖尿病内分泌センター/市立札幌病院糖尿病・内分泌内科)

・「男性化徴候と副腎腫瘍を契機に発見された卵巣ステロイド細胞腫の一例」

また、研究賞とは別個に会長独自の「優秀症例報告賞」を設け、会期中に座長採点により決定するとの説明があった。

## 10. 第 18 回 (2014 年度) 学術総会の予告

屋代第 18 回会長より、2011 年と同じ形式で第 41 回日本神経内分泌学会 (大磯ユタカ理事長、岩崎泰正大会長)、第 18 回日本内分泌病理学会 (成瀬光栄理事長、屋代隆大会長)、第 22 回日本ステロイドホルモン学会 (高柳涼一理事長、諸橋憲一郎大会長) の三学会が参加し「内分泌学ウィーク 2014」を開催したいとの報告があり、下記の日程・会場・基本条件とともに了承された。統括コーディネーターは屋代会長が務める。

日程： 2014 年 10 月 31 日、11 月 1-3 日 (金、土、日、月祝)

場所： 都道府県会館 (東京都千代田区平河町 2-6-3) 予定

	10/31 日 (金)	11/1 日 (土)	2 日 (日)	3 日 (月祝)
神経内分泌学会	—/○	○/○	○/—	—/—
内分泌病理学会	—/—	○/○	○/○	—/—
ステロイドホルモン学会	—/—	—/—	—/—	○/○

基本条件：①一つの学会に参加登録をすれば全ての学会のプログラムに参加できる。但し、発表者は当該学会に参加登録しなければならない。(登録費は統一する。)

②プログラム集作成、抄録集作成、ポスター作成はそれぞれ独自に行うが、ポスターには内分泌学ウィーク 2014 であることと参加三学会の大会名称は明記する。

- ③総合プログラム集は統一のものを作成する。
- ④内分泌学ウィーク 2014 のロゴマークを使用する。
- ⑤合同懇親会を 11 月 2 日夜に開催する。
- ⑥二学会ないし三学会による合同シンポジウムを企画する。

## 11. 学会名称変更の件

成瀬理事長より、本学会の今後の発展、会員増のため、医療、医学の情勢を十分に考慮しながら取り組む案件である点が説明され、今後も継続審議とすることとした。

## 12. 第 88 回（2015 年度、伊藤裕会長）日本内分泌学会学術総会プログラム委員会へのプログラム提案募集について

山田当学会代表プログラム委員より、後日評議員宛に例年通りプログラム提案のアンケートを実施するので、協力願いたいとの要請があった。

## 13. 会員数と会費長期未納者の取り扱いについて

成瀬理事長より、会員数は本年 9 月 20 日現在で 281 名、また本年 9 月 10 日時点での 3 年会費未納者が 12 名であるとの報告があった。会費長期未納者の取り扱いについては、2010 年 10 月理事会決議の通り、理事会メンバーから働きかけの後、会則第 6 条「3 年連続して会費を納入しなかった者は会員の資格を失う」に則って退会処理することとした。なお、事務局から理事会メンバー宛に会費長期未納者（2 年も含む）のリストを提供するので、配下または近隣の長期未納者に会費納入を促すことが要請された。

## 14. コンサルテーションの現状について

覚道広報理事（コンサルテーション委員長）より、依頼状況の報告があり、依頼件数が少ないことから HP 等でさらに広報活動を行うこととした。また、同理事から、コンサルテーション結果のフォローを行い、その質のアップを図ってはどうかとの意向が示されたが、受け手側の事情が異なることから、現状のまま様子を見ることになった。

## 15. 国際交流について

加藤企画学術理事より、国際交流の観点から、**Endocrine Pathology** 誌の購読を推奨すること、また第 13 回日韓合同スライドカンファレンス[日時：2013 年 12 月 6 日（金）・7 日（土）、会場：大分・別府国際コンベンションセンター、会長：大分大学医学部診断病理学 横山繁生教授]のコンパニオンミーティングである内分泌病理スライドセミナーでの発表プログラムを募ってはどうかとの提案があり、それぞれ了承された。これらについては HP で詳細を広報することとした。

また、当学会会員が **Endocrine Pathology** 誌を購読する際の割引制度については、笹野理事が確認することとした。

#### 16. 事務局の人件費（事務委託費）について

成瀬理事長より、他の分科会とのバランスをとるため年間 10 万円から 15 万円に上げた  
いとの提案があり、全会一致で承認された。本年度から適応となる。

#### 17. 日本内分泌学会雑誌「分科会抄録号」の掲載内容について

成瀬理事長より、当該誌の経費を日本内分泌学会が原則全額負担することに伴い掲載内  
容が一部制限されるとの報告があった。分科会学術総会会長が会員に配布する学術総会プ  
ログラム抄録集はこの限りではないので、会長は注意されたい。

掲載項目 ①～⑤は必須	掲載しない項目
① 学術集会専用ホームページのURL	・学会記録、学会賞等受賞者の記録
② プログラム	・評議員等の名簿
③ 抄録(一般演題は1 ページに4 演題以上 掲載)	・細則
④ 役員名簿	・賛助会員及び協賛団体一覧
⑤ 会則(または定款)	
その他(10 ページ以内)会長挨拶、参加要項 等	

#### 18. 事務局アドレス変更について

成瀬理事長より、本年 8 月 1 日から [jeps@endo-society.or.jp](mailto:jeps@endo-society.or.jp) に変更になったことが報  
告された。旧アドレスは 10 月末日をもって解約となる。

以上

(記録：事務局・岸、理事長・筆頭理事・会長校閲済)